

令和2年度 教育事業（地域力向上事業） ふれあいワークキャンプ（11年目）

1 事業概要

不登校及びひきこもりがちな小学校5・6年生、中学生、高校生、青年を対象に、2泊3日のワークキャンプを企画した。1日目は紙すき体験、2日目はスポーツ体験やじゃこ天製造体験、3日目は野外炊飯でピザ作りを行う予定だった。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加者が募集人数に達せず少数のため、やむを得ず中止の決定をした。

2 事業の目的（ねらい）

地域の産業を知り、勤労体験をすることで、働くことの意義を体感する。参加者や働く人との交流や共同生活を通して、心豊かな生き方を感じ、社会性や自立への力を育てる。

3 企画のポイント

当施設の標準生活時間に合わせて、2泊3日規則正しい生活が送れるように内容を考え、県内の適応指導教室に事業案内を行った。昨年度の反省をふまえ、今年度変更したことは次の通りである。

1つ目は、子どもだけの参加は認めず、適応指導教室の引率者、もしくは保護者の方に全日程の同行・宿泊をお願いし、全ての参加者が安心して活動できるようにした。普段生活しているところを離れて活動する場合、子どもの実態を把握している大人が常にサポートできる体制を整えておくことが大切であると考えた。

2つ目は、「体験から学ぶ」ということを重視し、講義は取り入れず、体験活動を多く設定することで、ワークキャンプに参加しやすいようにした。

4 主 催	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家
5 後 援	愛媛県教育委員会、大洲市教育委員会
6 期 日	令和2年11月17日（火）～11月19日（木）2泊3日
7 場 所	五十崎町天神産紙工場、八幡浜市谷本蒲鉾、国立大洲青少年交流の家
8 対 象	不登校及びひきこもりがちな小学校5・6年生、中学生、高校生、青年
9 募集人数	15名程度
10 講 師	五十崎町天神産紙工場職員・八幡浜市谷本蒲鉾職員・国立大洲青少年交流の家職員

令和2年度 国立大洲青少年交流の家 教育事業	
ふれあいワークキャンプ 開催要項	
1 ねらい	○ 地域の産業を知り、勤労体験をすることで、働くことの意義を体感する。 ○ 参加者や働く人との交流や共同生活を通して、心豊かな生き方を感じ、社会性や自立への力を育てる。
2 主 催	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家
3 後 援	愛媛県教育委員会、大洲市教育委員会
4 期 日	令和2年11月17日（火）～11月19日（木）【2泊3日】
5 場 所	内子町天神産紙工場・八幡浜市谷本蒲鉾・国立大洲青少年交流の家 【宿泊：国立大洲青少年交流の家】
6 対 象	不登校及びひきこもりがちな小学校5・6年生・中・高校生・青年 ※適応指導教室のスタッフやスクールカウンセラー等の連携・協力が必要な方
7 募集人数	15名程度
8 応募総費	4,600円（中学生以上） 4,500円（小学生）*食費代・保険代・シート代・雑費
9 準備物	3日分のマスク、体験活動に準じた服装（防寒対策）、運動靴、着替え、タオル、洗面用具、保険証（コピー可）、筆記用具、体育館シューズ *携帯電話・スマホ等の持ち込みは不可
10 日程・内容	<1日目> 10:00 受付開始 10:30 開会行事 11:30 アイスブレイク・めあてづくり 12:00 昼食 13:30 紙すき工場見学・紙すき体験（内子町天神産紙工場） *交流の家のバスで移動 17:00 夕食 18:00 入浴 19:00 みんなでカラブロック 20:00 ふりかえり 20:15 自由時間 22:00 就寝 <2日目> 6:30 起床 7:00 朝食 9:00 みんなでスポーツ 12:00 昼食 13:30 蒲鉾工場見学・じゃこてん製造体験（八幡浜市谷本蒲鉾） *交流の家のバスで移動 17:00 夕食 18:00 入浴 19:00 座禅 20:00 ふりかえり 20:15 自由時間 22:00 就寝 <3日目> 6:30 起床 7:00 朝食 7:40 掃除 9:00 みんなでピザ作り（野外炊飯） 11:30 昼食（ピザ） 12:30 開会行事

（担当：企画指導専門職 村中 昭広）